



令和2年度泉崎村子ども議会を開催

1月26日（火）村役場議場で令和2年度泉崎村子ども議会を開催しました。

本事業は、次世代を担う村の子ども達が「子ども議会」を通じて行政及び村議会の仕組みについて学び、自分達が暮らす地域について自由な発想や視点から考え質問することで、子どもの主体性をはぐくみ、また、意見を村づくりに反映させることを目的として開催され、今年で4回目です。

今年度は、泉崎第一小学校及び泉崎第二小学校の6年生から選出された10名の子ども議員の皆さんがそれぞれ村づくりについて質問し、それに対して村長、担当課長が答弁を行いました。また、新型コロナウイルス感染症対策として、選出議員以外の児童は各校でオンライン中継により傍聴しました。来賓についても、議会を代表して鈴木議長、岡部副議長のみ招待しての開催となりました。



もとやなぎ ゆい
本柳 結衣議長(一小)



わたなべ ゆうひ
渡邊 悠陽議長(二小)

へんみ しゅんすけ **邊見 駿佑議員(一小)**

泉崎村の歴史をデジタル化にしてほしい

泉崎村には歴史的にも貴重なものがあります。それを多くの人に知ってもらうために、横穴の内部を見ることができるデジタルのホームページなどを作ってほしいです。

社会の授業にも役立つと思いますが、どうでしょうか。

答 議員のおっしゃるとおり、資料館で展示されているものや見学できる遺跡、ホームページに掲載されているものは、いずれも限られた範囲内しか見ることができません。ご提案のような展示を実現することができれば、今まで以上に史跡に親しむことができるようになると思います。

また、現在のデジタル技術を使えば、さらに臨場感のある体験や細部に渡る見学が可能になると思います。

しかし、これらを実現していくためにはより詳細なデータの収集や費用が必要になるため、他の自治体や会社などから情報を収集し、実現可能かどうかも含めて検討していきたいと思います。





烏峠（八朔）祭りの開催について

職員室の前には、以前烏峠でお祭りが盛大に行われていた様子が描かれた版画があります。でも、今はお祭りの存在についてよく分かりません。

自然豊かな烏峠に泉崎の人だけでなく、たくさんの人が集まるお祭りを開催してほしいです。

答 八朔祭りはその年の豊作を願って行われるお祭りで、明治時代に始まったとされております。

この八朔祭りは、泉崎村が主として行う祭りではなく、烏峠稲荷神社役員総代12名が主として行う祭りとなっております。

約20年ほど祭りが開催できない状況となっている理由を現烏峠稲荷神社の宮司に尋ねたところ、「役員総代の方々が高齢となったため」との回答を頂きました。

村としても、伝統ある八朔祭りを絶やすことなく継承していくためにも、村外から烏峠に多くの人に来ていただけるような事業を、関係機関と協議していきたいと考えております。

くさの そうた
草野 創太議員(一小)

危険箇所の確認をしてほしい

私の家の近くの十字路は、とうもろこし畑があり、背丈が伸びると、車が来ているかとても見づらくなります。家の近くに限らず、学区の中には危険箇所があると思います。

そういった危険箇所を今後導入が予定されているタブレット端末で共有し、学校の授業で確認できたらいいと思います。

答 タブレット端末を活用した情報共有という発想は素晴らしいと思います。

村では、村内の道路等における危険箇所の確認や情報収集を行っております。場所によっては多くの時間や多額の費用を要する場所もあります。

今回、議員よりご指摘のありました内容につきましては、通学路であることが通行車に分かるように看板を設置するなど、早急に対応可能な対策を検討させていただきます。

通学路には他にも皆さんが危険を感じている場所があると思われまので、そういった情報を学校に伝えていただき、共有していただきたいと思っております。共有していただいた情報は改善に向けて対策を協議・検討し、危険箇所をなくしていきたいと考えております。



すずき かな
鈴木 佳奈議員(二小)

「広報」をもっとみんなに読んでもらうためにはどうしたらいいだろう

広報に異文化体験学習の写真が載ったことがきっかけで広報について話したのですが、いつも読んでいる人は学級で3人しかいませんでした。そこで、どうしたらもっと多くの人を読むようになるか話し合った結果、子どもでも分かりやすいページや4コマ漫画、クイズ、子ども達が記事を書く機会などがあればいいのではないかという意見が出ました。

また、音声化した広報もあればより多様な人達に読んでもらえるようになるのではないかと思います。そのような広報を作ることはできますか。

答 広報には、村内外で行われたイベントの報告や今後の予定など、皆さんに是非知ってもらいたい情報が書かれておりますので、多くの人に読んでもらうための工夫は必要だと考えております。

記事に聞き慣れない用語等が出てきた場合に説明欄を作ったり、用語の解説を漫画で行ったり情報クイズを掲載するなど、子どもでも興味を持てる内容にすることができるのではないかと考えております。また、平成31年4月より「マチイロ」という広報アプリを導入したことで、以前より気軽に広報を見ていただけるようにはなっておりますが、音声化までは進んでいない状況になっております。どのような方法が実施可能か、より多くの人に見てもらえるようになるのか、様々な分野と協議しながら検討し、できることから速やかに実施していきたいと考えております。

藤田 大矢議員(二小)

充電設備を設置してほしい

自然災害の際に、電気がなく困っている地域があるとニュースで見ました。また、地震や水害などの自然災害が多くなってきているように感じます。

そこで私は、村役場に緊急時に使える充電設備の設置を提案します。村役場に緊急時にだけ使えるコンセントを設置したり、充電専用スペースを作ったりするのはどうでしょうか。

スマートフォンの充電や調理器具の電源、避難所の明かりに利用できると思います。

また、ゲーム機などの電源にも使えて気分転換にもなると思いますが、どうでしょうか。

答 毎年のように自然災害が起きているため、普段から災害に備えておくことは非常に大切であると考えております。

災害時には役場は災害対応の中心となりますので、非常時に対応できるよう、非常用の発電機と太陽光発電の蓄電池及び大容量の蓄電ユニットを設置しております。また、防災センターにもガス式の非常用発電装置や貯水タンクなどもあります。

また、役場の他に避難所に指定してある施設にも太陽光発電蓄電池が設置してあります。

村では昨年、東北電力ネットワーク株式会社白河電力センターとの間に災害時の協力に関する協定を締結しました。この協定は災害発生時の電力設備の迅速で円滑な復旧を図ることを目的としたものです。

避難所生活が長期化した場合、気分転換のための対策は必要であると思われます。情報を得るためのテレビやラジオは有効であると思われますが、ゲーム機などは逆にトラブルの原因にもなり得ることから、配備に際しては慎重に検討したいと考えております。



嶋村 美香議員(二小)

身近な人がコロナウイルスに感染してしまったらどうしたらいいのか
今年は、新型コロナウイルス感染対策のため予防しながら過ごす毎日です。もし、身近な人が感染してしまったらと考えたとき、心配は深まるばかりです。

そこで、一人ひとりの人権を守るための提言を作ってはいかががでしょうか。また、村内放送で思いやりのメッセージを流したり、思いやりデーを作ったりしてもよいのではないのでしょうか。思いやりを呼びかけるポスターの募集も行えるとよいと思いますが、いかがでしょうか。

答 議員の優しい気持ちにあふれたご質問であると感じました。

現在、防災無線により感染予防徹底や感染した方への思いやりを持った行動をお願いしています。また、村のホームページには久保木村長からのメッセージが掲載されております。

みんなが一人ひとりの人権を守るという考えを持ち、思いやりの心で接することができれば、感染した方も安心して過ごすことができるようになると思います。

そのためには、議員のご意見にもありますが、長期休み期間の子ども放送で取り組んでいただいております活動を活かし、思いやりデーとして小学生の皆さんに思いやりのメッセージを放送していただくことも、有効であると考えます。



塗装【ペンキ】工事

住宅からビルディング
まで工場・オフィス
店舗・内外塗装工事

*見積り無料
(新築・リフォームも)
お電話お待ちしております

随時・社員(見習い可)募集中 / 社会・厚生年金・雇用保険有り

知事許可(般-27)第27330号 (労大臣認)1級建築塗装技能士

MBK・エム美装工芸社

☎969-0101 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字鶴番小屋9番地
☎泉崎53-4066・FAX21-6678

看板の事なら何でも

福島県屋外広告業届出 第30015号

看板(設計)☆エアブラシ(アンドン、イラスト、他)

小林工芸

☎969-0101 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字寺前71
TEL・FAX 0248-53-4355



オンライン中継を傍聴する児童



久保木村長の総評を傍聴する児童

最後に久保木村長より全体を通して総評がありました。

泉崎村の歴史をデジタル化してほしい

本村の魅力の1つである泉崎村の歴史について、今まではアピール不足だったと感じました。

劣化してしまった泉崎横穴の美しさを保存し、村内外へ泉崎村の魅力をアピールしていきたいと思えます。

烏峠（八朔）祭りについて

昔は近隣でも有名だった烏峠稲荷神社ですが、現在は神社を支える氏子の皆さんが高齢となってしまう、活動が難しい状況です。

村でもできる限り援助して、再び神社を盛り上げたいと考えております。

危険箇所の確認をしてほしい

タブレット端末を活用して情報共有するというのは素晴らしい発想だと思います。

担当課長からの答弁にもあったように、皆さんも危険だと感じた箇所について、どんどん学校と共有していただきたいと思えます。

皆さんからいただいた情報をもとに、役場でも再確認し皆さんと情報共有したいと思えます。



「広報」をもっとみんなに読んでもらうためにはどうしたらいいだろう

広報をどうやったら興味を持って読んでもらえるのか、再度検討が必要だと思います。

広報に子ども達が参加すると、家庭も関心を持ってくれるようになるのではないかと思います。

読みやすく関心を持てる広報を作れるよう担当者も含めて意識改革等を行っていききたいと思えます。

充電設備を設置してほしい

様々な視点で見てくれていると感心しました。東日本大震災を経験し、電源の重要性を意識しましたが、現在もその意識を持っているのは素晴らしいと思えます。

ハザードマップはありますが、分かりやすくなっているか確認し、もしそうになっていなければ説明しなければと思えます。

身近な人がコロナウイルスに感染してしまったら

自分だけでなく、他の人の心配をしていることが素晴らしいと思えます。

現在、ワクチン接種の準備が進んでおり、解決に向けて進んでいるところです。不安になるのは当たり前ですが、誰が感染したとしてもその人を変な目で見るようなお願いをします。また、その人が回復したときはそれまでと変わらない態度で接して下さるようお願いいたします。



豚肉専門店
Novel
Meat & Handmade
Ham Sausage

ノーベル

〒969-0101 西白河郡泉崎村大字泉崎字夏針 63-1
FAX : 0248-53-4147
TEL (0248) 53-4129
E-mail novel@yumeaji.com
<http://www.yumeaji.com> AM11:00~PM7:00 ●火曜日定休

信頼と・施工実績No.1

太陽光発電設備・オール電化設備

有限 齋藤 電 工
会 社

〒969-0103 泉崎村北平山中島130-1
TEL 53-2914 FAX 53-4566